

エネ環ダイジェスト

電発、雪氷冷熱エネ利用へ

雪の保存実験開始

電源開発(株)は4月23日、新潟県北魚沼郡の小出電力所内で「雪の夏季保存実験」を10月まで行うと発表した。新エネ法の対象に雪氷エネ利用が追加されたことから、同利用技術の実用化に着手。その第一歩として、安価で効率的な雪の保存方法の確立を目指す。その後政策支援も得ながら、農作物長期保存や冷房設備はじめ新たな雪氷冷熱エネ利用事業の具体化・実用化に乗り出す考え。

佐川急便、WWFのCO₂

削減計画に参加

世界自然保護基金(WWF)は26日、宅配業界大手の佐川急便と共同して同社のCO₂排出量削減プログラムに取り組むと発表した。

すでに同社はCO₂を2012年度までに01年度末比6%削減する目標を立て、2万台ある集配車のうち約6,000台を、順次天然ガス車に切り替える方針を示していた。今後両者は同プログラムに基づいて、この目標を精査し再設定。監査会社の中央サステナビリティ研究所に削減実績等の検証を依頼して、CO₂削減の透明性・確実性を高めていく。

トヨタ、ハイブリッド車販

売10万台超える

トヨタ自動車は22日、ハイブリッド車(プリウス、エスティマハイブリッド、クラウン)の累計販売が10万台を超えたと発表した。01年の種類別販売台数は(エスティマHBとクラウンは昨年からの販売)、プリウス=国内1万1,003台(前年1万2,513台)、海外1万8,456台(同6,498台)。エスティマ=5,886台。クラウン=1,574台。

汚染可能性不動産検索・減価計算で新会社発足

地質調査会社等で構成する「協同組合地盤環境技術研究センター」と、

ケイ・アイ不動産鑑定、緒方不動産鑑定事務所が共同で「(株)アースプレイザル」(東京都千代田区)をこのほど設立、4月25日から汚染可能性不動産の検索や減価計算等のコンサル事業を開始した。新会社は、都の環境確保条例施行や土壌汚染対策法、都市再生法の制定などを見据え、①土壌汚染の可能性のある不動産の検索データベース②不動産減価計算システム——を独自に開発・運営、これらを活用したコンサル業務を展開する。

資本金は1,000万円で、協同組合と鑑定会社側が折半出資。初年度売上げ3億円程度を見込んでいる。

春の叙勲者、エネルギー関

係は瑞一に那須、領木氏ら

経産省は先月29日、春の叙勲者を発表した。エネルギー分野に多大な功績があった受章者は、勲一等瑞宝章…那須翔・元東京電力会長、領木新一郎・大阪ガス会長、同二等…阿比留雄・元日本原電会長、勲三等旭日中受章…神野信郎・中部ガス会長、勲三等瑞宝章…新藤昭光・元北陸電力副社長、弓削田英一・元資源エネ庁石炭部長の各氏。親授・伝達式は皇居等で8日に行われた。

気候変動条約の3回目国別

報告書案へ意見募集中

環境省は気候変動枠組み条約に基づく3回目の国別報告書案をまとめ、意見募集中(5月17日まで)。国別報告書は3~5年ごとに条約事務局に提出しているもの。受け付けた意見を反映させ、報告書は5月中旬にも提出する。資料(報告書案)は、環境省ホームページのほか、実費での郵送も受け付ける。

グリーン購入ネットワーク

が商品データブック改訂

「グリーン購入ネットワーク」は25日、「グリーン購入のためのGPNデータブック」の改訂版を発刊した。

グリーン購入法に基づく「2002年度基本方針」(4月1日策定)に対応したもので、紙、OA機器、自動車、家電など全8冊・16分野からなり、8,220商品を網羅。ノンフロン冷蔵庫や超低排出ガス車などを中心に、前回より約1,500商品増えた。

東洋経済の環境報告書最優

秀賞に西友

東洋経済新報社は5月8日、「環境報告書賞」の表彰式を開催。最優秀賞に西友、優秀賞にキリンビールとリコーグループの2社、優良賞は大阪ガス、コスモ石油、トヨタ自動車、松下電器グループ、ソニー、日本電気、セイコーエプソン、太平洋セメント、INAX、イオン、大林組など14社、中小企業賞に環境管理センターが選ばれた。

「地球サミットから10年」を

テーマにWSを開催

南アフリカで今年8月から開かれるヨハネスブルグ・サミットに向け、「地球サミットから10年」をテーマにしたNPOによるワークショップが5月18日に都内で開かれる。主催はNPO法人の「環境文明21」。同法人代表の加藤三郎氏の講演のほか、小林料・東京電力顧問や川崎市の瀧田浩総合企画局長など企業、自治体、NGOによるパネルディスカッションが行われる。資料代は500円(同法人会員は無料)。参加希望等はTEL 044-411-8455まで。

足利工大の第2回風力セミ

ナーで洋上立地をテーマ

足利工業大学総合研究センターは6月21~22日、第2回風力エネルギー利用総合セミナー(後援:日本風力エネルギー協会)を開催する。場所は同大講義室。今回のテーマは風力発電の洋上立地と中・小型タイプの技術開発動向について。講師は牛山泉氏(足利工大)ら。申し込み先はTEL 0284-62-0782。